

銚子、黏臍、饅饅、團喜也、また晴御膳といふは、内膳司より獻り、腋御膳といふは、高橋より獻るといへり。

〔江家次第三月〕踏歌

内膳入自日○本日一月華門供御膳遲遲時内膳別當公卿下殿催之内膳正以下令史等又手前行膳部醉酒鹽醬餛飩索餅餛飩桂心取供之群臣諸仗共立晴御膳

〔厨事類記〕御臺口本高一尺或九寸五分或九寸五分面弘一尺三寸或一尺三寸三分 土居弘八寸八分同厚一寸三分或一分

諸宮晴御膳紫檀地螺鈿看木繪或金青地施泥繪面押銀伏輪或白尋常之時蒔繪日貢御膳被用

朱漆面許也

〔四節八座抄〕元日節會○中

次供晴御膳八盤群臣立供了次腋御膳四盤群臣不居

白馬節會○中

次晴御膳群臣立供了次腋御膳四盤群臣不起

踏歌節會○中

次晴御膳先采女撤把次腋御膳四盤群臣不起

豊明節會○中

次晴御膳采女先撤把次腋御膳四盤群臣不起

〔建武年中行事〕元日節會、内辨大臣陣の座につきてことをおこなふ○中内辨御膳を催す、下殿してこれを仰す、内膳のかみ已下南階のもとにす、むけいひちのこゑを聞て群臣たつ、これよりさきうねべす、みて草とむにつく、役送のうねべ御づし所の中のばん二もちてす、む、陪膳の